



つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属 

会員募集中 

編集：陣内やすこと明日の八王子をつくる会／発行：陣内やすこ(市民自治の会)

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 0426-36-8158 FAX 0426-36-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/

2005年度予算決まる!!!

1 教育予算削減にやっとなげ

- ・学校配分予算児童・生徒一人1000円アップ
- ・トイレ改修小学校4校、中学校1校(子どもの教育環境整備としての悪臭対策は必須)
- ・防犯カメラの設置(効果が疑問。開かれた学校整備で人の目、人の力で学校の安全を守っていこう)
- ・まだまだやるの? 学力定着度調査(小6、中1対象。都実施分は小5、中2年生)
- ・アシスタントティーチャー4名減(学校からの要望が満たされない)
- ・特別支援教育推進に十分な人的予算なし(介助員制度の要求をしました)
- ・学校図書館の充実、2年目の試行。予算増えず、読書指導ボランティアがたより。



2 子育て支援がすすみます

- ・地域こども家庭支援センター2ヶ所の設置(南大沢・由木地区、川口・恩方地区)
- ・「子育て育成計画」の実施
- ・虐待防止に向けての取り組み
- ・家庭福祉員制度の拡充(それでも追いつかない待機児童対策：1月末待機児童770名)
- ・公立保育園の再編(統廃園1園、民間委託6園。質の確保は? 第三者評価は?)

5 都市の再生、大型開発依存はもうやめよう

八王子駅南口地区市街地再開発に4億7,857万円。60階建てから37階建てに変更、シネマコンプレックスもテナントとして入らず、JRが引き受けるとか。ミニ市役所が入るとの話もある。さらに大型スーパーが入るとか。

全体像が決まっていない。市の関与、民間事業と公共事業との線引きが不明確。予算総額が示されていない。新市民会館建設については、予算約70億円といっている。これはまちづくり交付金申請のための試算で、実際にはもっとかかるだろう。

現市民会館を耐震工事すれば、約10億7,000万円という。興業も継続されている。また、客席数1,600席~1,800席程度という報告があったが、何のための新市民会館かコンセプトがはっきりしていない。

にもかかわらず、5億円あまりの今年度支出である。具体的、客観的データを示すべきであり、その上で市民に対して、改めて、その是非を問うべきではないか。

*その他の大型開発事業として、中央道インター北地区大型商業地区整備(都営地の売却交渉中)、物流センターおよび北西部幹線道路建設(すでに都市再生機構から4億7,500万円で、(財)八王子市住宅開発、整備公社が土地を取得済み。半分はオオタカに、半分は物流拠点に、との市長答弁あり)、道の駅整備(2006年度末までに4億4,500万円。今年度は3億6,250万円計上)

大型開発は市民へ多大な負担を要求します。今の開発計画は、とても市民合意がなされている状況とはいえません。

3 スポーツ振興、いちよう塾とあわせて文武両道の楽しみ

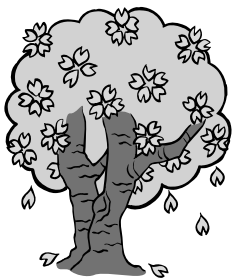
- ・富士森公園プール跡地にフットサルコート整備
- ・地域スポーツクラブ設立支援(小学校の余裕教室利用、ジェンダー視点での点検が必要)

4 みどりの保全、今やらなければならない

- ・市街化区域の緑地公有化(ミニ公募債10億の発行)
- ・ごみの有料化による指定袋収入の一部をみどりの保全基金へ。(でも、発生抑制施策、リサイクル等、まだまだ取り組むべきことはたくさんある。そちらが優先)

6 防災

- ・災害用仮設トイレの設置80基(→5年間で400基へ)




厳しくチェックします


予算等特別委員会および平成17年第1回定例議会開催される(2月28日～3月29日)

予算等特別委員会(予算案に反対しました)


●保育園待機児童について

 定員増や弾力的運用で、待機児童の改善を図ってきているが、一向に改善されない。待機児童の数は2002年度末760名、2003年度末722名、2004年度末として2月の実数は770名。これまでのやり方ではだめということ。抜本的解決策が必要だ。今年度の取り組みとして、家庭福祉員の充実、拡大を図るといえるが、将来的展望は。


答：6名から10名にする予定。さらに充実していきたい。(資格がなくても、研修受講で引き受けられるようにする)

 増えない理由として、保育料の問題がある。(保育料29,000円、給食代(上限10,000円)。段階料金や多様なニーズに合う料金設定も必要ではないか。


答：所得に対応した保育料については、検討課題のひとつだと考えている。

 育児休業明けの保育園入所は希望者の50%、出産要件での保育園入所は、30%。国の両立支援施策として、市を挙げて企業にも育児の取得促進を求めていく折、育児休業明け保育の保障を公立保育園の担う役割と位置づけていただきたい。


答：公立保育園では、弾力化の枠の中で対応している。その活用を検討する。

 虐待について、市長答弁で、児童虐待の要因として、母性の喪失という話があったが、納得いかない。家庭の密室のなかで虐待を受けている子どもたちは、父親、多くは義理の父親からの暴力、人権無視にさらされているということが、報道の中でも明らかになっている。母親だけの責任に転嫁するのは間違い。また、3歳までの子育ては母親の手で、あるいは子どもの養育責任は母親にあるといった3歳児神話は、神話以外の何者でもなく、崩壊しているということは、社会の、そして今の国の共通認識にもなっている。また、世界の潮流でもある。

●障がい者・高齢者の就労支援について


 障がい者就労・生活支援センターの「ふらん」への支援が減額、また、職員数も減数となった。その理由は。

答：16年度は国の緊急雇用創出特別補助事業をあて、17年度は、都の福祉改革推進事業補助へと姿をかえたため。


 障がい者の就労は福祉としての位置づけだけでなく、人権と捉えなおす必要がある。今年度の予算で十分その役

割を果たしていけるとお考えか。

答：十分効果はあると認識している。障がい者が就労可能な業務について、各所管と調整を進めているところである。ハローワークなどの関係行政機関との連携を強化して、支援していく。


 高齢者の就労支援として、シルバー人材センターへの支援はどのように行っているのか。

答：公共事業の発注を増やすよう、庁内関係所管に働きかけを行っている。また、就業開拓委員会がチームを組んで、新たな就業機会の拡大のための営業活を行っている。


 八王子にある都の授産所が閉鎖となった。30名ほどの高齢者の方が生き生き働いている。どう受け止めているか。

答：一定の役割が果たされたことでの廃止。利用者への対応や廃止の過程説明は都が責任を持って行う。都は類似事業を行っている。その辺を見極めて、検討する。


●教育について

 今、学校に求められているのは、人格の形成に資する多様性の配慮であり、望む誰もが地域の学校に通うことができることを保障する仕組みである。今、心身障害学級に通っている児童生徒の数、何らかの支援が必要とされている子どもの数、不登校の児童生徒の数、そして高尾山学園に通っている八王子在住の児童生徒の数をお伺いする。

答：知的障害の固定学級に在籍する児童生徒の数は、小学校171名、中学校108名、計、279名。普通学級に在籍して週1回通級学級に通っている数は、小学校272名、中学校42名、計、314名。普通学級に在籍し、何らかの支援を検討している児童生徒の数は、2月に行った調査によると、小学校311名、中学校113名、計424名です。不登校の児童生徒は、615名、高尾山学園に通っている児童生徒は、129名です。

 いろいろなケアを必要としている子どもたちがたくさんいる。どのようなサポートが実施されているのか。それを聞く前に、保護者の付き添いが行われているケースはどれくらいか。

答：車椅子の使用のお子さん7名います。そのうち、保護者の付き添いの方は、5名です。車椅子使用以外の方で、保護者付き添いの方が2名います。

 保護者の方が、7名、毎日、学校の付き添いをされている。ぜひなんとかしていただきたい。一人一人の学習

陣内やすこの収支報告(2004.1～2004.12)

収入	議員報酬	10,195,200	0	
	ふれあい財団	16,000	0	(費用弁償として)
	大横福祉センター	24,000	0	(法務省へ供託)
支出	義務的支出		1,660,520	
	税金等		1,189,600	
	活動費	明日の八王子をつくる会へ	1,500,000	
		通信作成	330,000	政務調査費外の支出
		団体会費	120,000	虹とみどりの500人リスト他
		交通費・駐車場代	250,000	
		通信費	550,000	通信発送代等
		活動雑費	420,000	
		資料代	300,000	本代、シンポ参加、渉外費等
		事務所印刷機リース等	150,000	月10000+インク、用紙
	H P、メルマガ、その他情報発信	120,000		
積み立て		700,000		
生活費		2,905,080		

*6月、12月の期末手当は、役員加算として2割増しになっています。

*職員の場合、役職によって割増率が違います。自治体によっては、この議員割増しをなくしたところもあります。


*これ以外に政務調査費として、月6万、計72万円が支給されています。資料作成や調査活動、研修等に支出しています。(収支報告は4月末提出)

*収支報告に早く領収書を添付するよう、条例改正する必要があります。


*議員としての会議出席報酬を受け取りません。(供託)

権、教育権、学校という場での生活権を保障するのが自治体の役割。介助員制度について、とり組んでいただきたい。


教育長：障がいのある人への支援は、本人ができることをそこまで介助しますと、できることを奪ってしまうのではないかとこの恐れもあります。しかし、介助がなければできない場合もございます。必要な介助は保護者の協力をいただいて対応している例もたくさんあります。現状では、介助員制度の導入はきわめて困難。地域の方々や学生ボランティアを組織してネットができれば、広く助け合いの輪となります。

 しかし、学校現場でこういったネットワークがなかなか作れない大きな壁があることも認識してほしい。アシスタントティーチャの活用について、どのように行っているのか。

答：学力定着度調査を受けて、事業の改善推進プランを作り、それに基づいて、学校からの要望等を踏まえて、適切に支援、活用を図っていく。

 学力も必要だが、統合教育そのものが求められている。教育とはお金がかかって当然。教育に対する人的サポートをより充実させていくためにどうすればいいか。

教育長：誰でも地域の学校で学べるように条件を整えていくことは大変重要。そのための人的措置を、地域、保護者、その他関係機関と連携をとり、適切に進められるよう努力していく。

 多様なニーズを抱える人たちの働くこと、そして誰もが教育を受けることを基本的に保障した上で、環境政策等さまざまな取り組みが行われるべき。新市民会館の建設、インター北地区の商業地区開発など、都市再生事業が基本的人権の保障より優先されているのでしょうか。しかも新たな公共事業だ。新規事業を起こす場合、事業計画や資金計画、返済計画、そして波及効果やマイナス効果などを示してから、実施するのではないか。しかしそのような計画が借金を引き受ける市民に対してなら、情報公開されていない。

市長：何を持って市民の意見とするのかということですが、まず第1に私どもが大事にしなければいけないのは、議員の皆さんの意向だというふうに思います。それから機会

あるたびごとに直接的に市民のみなさんに触れ合いながら、意見を聴取させていただく。こういうことで市民の意見というものを総括させていただき、施策の優先順位等を決めている。

議員ひとりひとりが市民の声の代弁者ではあるけれど、議会の決定すべてが市民の総意とイコールではないから、今、市民自治の流れが出てきているといえる。



地域課題では…

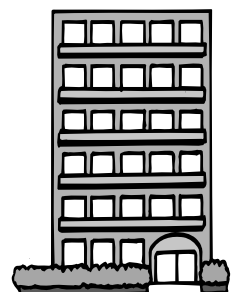
- ・みなみ野駅交番設置
- ・JR片倉駅エレベーター、エスカレーター、誰でもトイレ設置。
- ・耐震補強工事：高嶺小学校（工事）、由木西小学校（設計）着手。中山小学校耐震補強工事（16年度補正予算で）
- ・南大沢地区地域こども家庭支援センター設置
- ・南大沢警察署設置（平成21年までに）
- ・大塚地区認可保育園分園設置
- ・由木東小学校学童保育所設置
- ・南大沢駅駐輪場の利便性アップ
- ・みなみ野中央地区小学校新設

請願に賛成しました

明星大学の高層(17階建て)校舎建設の見直しを求める

高層建築の出現によって、日照権、眺望権、そして自然環境が破壊されると、地元住民たちの請願です。学校側の対応が悪く、地元住民と話しあう姿勢が見られず、また、市街化調整区域にある学校法人としての社会的責任があることから、学校側の対応の是正を求めました。(結果として不採択。しかし指導・あっせんにあたるのとこと)

請願審議をする委員会には、たくさんの住民の方々が傍聴に見えました。十分な資料を短い期間に整え、対応する住民パワーはすごい!! これぞ市民自治の力です。今後も行政、そして学校側の動きを監視していきます。



市民感覚とずれていきます!!



私が所属する三多摩議員ネットワークでは、毎年、「廃止」の申し入れをしています。

その① 議員年金の優遇

議員年金の優遇が社会問題となりましたが、具体的な改正へとつながりません。

議員年金は12年で受給対象となります。国民年金など、公的年金は25年かけてやっともらえます。また、公的年金と重複加入のため、税金の恩恵を二重に受けることとなります。



その② 永年勤続表彰制度

議員は選挙で選ばれ、それが評価です。しかし、東京都市議会議長会、関東市議会議長会、全国市議会議長会、という3つの議長会から、7年以上の永年勤続議員を表彰する制度があります。全国議長会からは宝石をあしらった議員バッジ、関東議長会からも宝石をあしらったタイピンやペンダント、都は記念品です。市からも自治表彰として記念品が出ます。これらすべて、わたしたちの税金です。

やすこの活動日誌

- 1月17日 多摩ニュータウン特別委員会研修
 20日 長房西保育園 交渉
 21日 議会運営委員会
 21～22日 三多摩議員ネット合宿
 22日 「大災害、そのときどうする？」講演会
 市民オペラ リリカ「ボエーム」鑑賞
 男女共同参画センター主催「八王子の織物」
 25日 八王子のこれからの高齢化社会について
 (主催：八王子自治研センター)
 27日 予算説明会
 28日 カフェミーティング
 29日 「女性の人権と国連」～男女共同参画の原点を探る①
 30日 カフェミーティング(南大沢)
 「子育て育成計画」説明会
 環境学習室オープンイベント(於 あったかホール)
 2月2日 「澤登 翠の世界」～活弁付きシネマ&トーク
 3日 みんなで知ろう！介護保険法改正案 勉強会
 4日 「フリーターにならない させないために」講演会
 5日 「ブロック会議報告会・講演会」～地域連携を図る
 6日 志木教育研究会 公開模擬授業
 「少人数学級のこれから」研究会報告
 7日 PCBの保管状況視察(八王子)
 8日 ドメスティックバイオレンス支援協議会(傍聴)
 9日 八王子の女性と手をつなぐ会 運営委員会
 10日 会派代表者会
 自治体フォーラム
 11日 中央道料金撤廃署名活動(於 南大沢)
 13日 小金井市議会傍聴
 14日 総務企画/厚生水道委員会 傍聴
 15日 文教経済委員会
 「尾尾の自然科学博物館を考える」第1回シンポジウム
 16日 永年勤続議員表彰市議会議員研修会
 17日 大横福祉センター運営協議会
 少子高齢化特別委員会
 19日 景観セミナー
 20日 元気フォーラム「みんなで築く新しい公共」
 市民企画事業補助金制度応募事業 プレゼンテーション
 21日 第1回定例議会 告示
 22日 居場所カレッジ第6回「地域で高齢化を考える」
 講師：新堀 典子さん(行政書士)
 24日 議会運営委員会
 26日 女と男のいきいきフォーラム八王子
 学校図書館を考える会 講演会
 子育て万博 in 八王子
 27日 全関東八王子夢街道駅伝
 28日 第1回定例議会
 3月1日 総務企画/厚生水道委員会(傍聴)
 2日 文教経済委員会
 4日 本会議2日目
 7日 本会議3日目
 9日 予算特別委員会総括質疑
 10日 予算特別委員会総括質疑
 11日 予算特別委員会総括質疑
 12日 「平和実現への道」～男女共同参画の原点を探る③
 13日 Air 一空 パフォーミングアーツ 公演
 市民企画事業「夢見の空き地一海の象」
 14日 総務企画/厚生水道分科会(傍聴) 会派代表者会
 15日 総務企画/厚生水道分科会(傍聴)
 16日 文教経済分科会
 17日 文教経済分科会 文教経済委員会
 19日 男女共同参画啓発講座(世田谷)
 「ドメスティックバイオレンスって何？」～シネマ&トーク
 23日 議会運営委員会 予算特別委員会
 25日 本会議4日目
 28日 一般質問
 29日 一般質問
 31日 ふれあい財団評議会

議会報告会(カフェミーティング)

議題：2005年度予算の説明

—何が進んでいるのか—

- 4月20日(水)** カフェケン (0426-56-2044)
 午後6時～8時
- 4月24日(日)** 南大沢市民文化会館
 午前10時～12時
- 4月28日(木)** みんなの居場所 (0426-36-8158)
 午前10時～12時

インフォメーション

4/18

伝統食ところ「まま家」

4月18日(月) 12時～

日本の伝統の味を玄米と一緒に味わいましょう。

今月のメニュー：玄米

(600円)

みそ汁

さわらの粕漬

筑前煮

青菜のあえもの

ゼリー



4/22

居場所カレッジ 第7回

介護保険の見直しが行われています。

要支援、要介護1、2の方々再編され、ホームヘルプサービス等使えなくなります。

筋力トレーニング等の導入で、利用メニューの自由度が低くなる恐れがあります。本当に必要なサービスとは？利用者自身も考えていきましょう。

「介護保険について考えよう」

—安心した老後を迎えるために—

講師：NPO法人 サポートハウス年輪 安岡厚子さん

費用：300円

日時：4月22日(金)午後2時～4時

場所：みんなの居場所(0426-36-8158)

4/30

上映会

ベアテ・シロタ・ゴードンさんは、憲法草案に男女平等の規定を盛り込んだ方です。

彼女からのプレゼント、わたしたちに届いているのでしょうか。

憲法9条、24条の改正等が言われている今、改めて、映像でこれまでの女性の歴史等を振り返ってみたいものです。

「ベアテさんの贈り物」(監督：藤原智子)

4月30日から 岩波ホール (03-3262-5252)

ベアテさんが日本の憲法に書き加えた女性の人権と男女平等の条文が、戦後の日本女性の地位向上と権利にとって、どれだけ強い後ろ盾になったことか。『平和のために、役立つものがが必要です。女性が幸福にならなければ、世界は平和になりません。』(ベアテ・シロタ・ゴードン)

この映画は、戦後女性史のひとつともいえるものです。この条文を起点として、日本の女性たちが今日までどのような、地道な歩みと活発な活動を展開してきたかを検証しています。